

公益社団法人地盤工学会 平成 23 年度 第 9 回 理 事 会

【 書 面 会 議 】

議 事 録

日 時 : 平成 23 年 12 月 22 日 ( 木 ) 12 : 00 ( 書面会議開催 )			
出席者 :			
日下部 治 会 長	木村 亮 総務部長	西江 俊作 理 事	小島 芳之 理 事
岸田 隆夫 副 会 長 (兼会員・支部部長)	渡部 要一 国際部長	峯田 一彦 理 事	石川 彰 監 事
	兵動 正幸 会誌部長	桑野 玲子 理 事	小椋 仁志 監 事
天野 玲子 副 会 長 (兼企画部長)	村田 芳信 事業部長	須賀 幸一 理 事	
	京谷 孝史 調査・研究部長 兼災害担当	小宮 一仁 理 事	
八嶋 厚 副 会 長 (兼総務担当)	安福 規之 基準部長	荒瀬 義則 理 事	
	田中 耕一 理 事	森井 俊廣 理 事	

【事務局】戸塚事務局長，鈴木次長，松本総務・財務 GL，永田公益出版 GL，伊佐治調査研究・基準 GL，長尾技術推進 GL

注) : 出席、× : 欠席

\* 定款第 34 条第 2 項の規定により、日下部 治会長より下記議案につき理事会決議の提案があり、理事全員の同意の意思表示のもとで、各議案に対する賛否の書面表決書の提出を理事全員に求めた（提出期限は 12/27 ( 火 ) 17 時まで）。理事全員の書面提出により、理事会が成立され、議決結果を議事録として記録する。

\* 理事会の議長は、定款第 33 条第 2 項に則り、日下部 治 会長があたり、議事録署名者は、定款第 35 条第 2 項に則り、日下部 治 会長、石川 彰 監事、小椋仁志 監事とし、議事録作成は木村 亮 理事が担当する。

議 題 :

議 事 録 確 認

1 . 理事会議事録 ( 案 )( 11/30 ) [ 別紙 - 1 ] pp. 1-9

\* 上記について、書面による確認を行い、満場一致で承認された。

審 議 事 項

会 員 ・ 支 部 部

1 . 新規入会希望者 ( 平成 23 年 12 月 1 日入会 ) [ 別紙 - 2 ] pp. 10-15

\* 「新規入会希望者 ( 平成 23 年 12 月 1 日入会 ) 」について、定款第 34 条第 2 項に則り、書面による表決を行い、満場一致で原案どおり承認可決された。

2 . 本部支部懇談会議事録(案)の確認 ( 平成 23 年 11 月 30 日開催 ) [ 別紙 - 3 ] pp. 16-19

\* 「本部支部懇談会議事録(案)」について、定款第 34 条第 2 項に則り、書面による表決を行い、満場一致で原案どおり承認可決された。

3 . プレミアム会員制度新規利用申込者 [ 別紙 - 4 ] p. 20

\* 「プレミアム会員制度新規利用申込者」について、定款第 34 条第 2 項に則り、書面による表決を行い、満場一致で原案どおり承認可決された。

調 査 ・ 研 究 部

会誌部

1. Soils and Foundations の新規印刷発注先

〔別紙 - 5〕 p. 21

- ・ 2012 年からの Elsevier 社との編集契約に伴い、冊子版印刷の依頼先について、総務部会で現行の印刷所を含めた 3 社による見積を検討した。印刷及び発送の両面から総合的に比較検討の結果、発送費について格安(22 年度実績に比して年間約 70 万円節減可能)な民間メール便を提案した別紙印刷所を候補とした。印刷費については、最終的にさらに出精値引きを交渉の予定。

\* 「Soils and Foundations の新規印刷発注先」について、定款第 34 条第 2 項に則り、書面による表決を行い、満場一致で原案どおり承認可決された。なお、渡部要一国際部長より「クオリティは確保してください。」との意見があった。

事業部

基準部

企画部

国際部

総務部

1. 平成 24 年度各部会部員の公募

〔別紙 - 6〕 p. 22

- ・ 「開かれた学会運営」の一環として、平成 12 年度から各部会の部員を公募している。平成 24 年度も同様に公募する。学会誌 2 月・3 月号会告掲載。応募締切は平成 24 年 3 月 31 日。

\* 「平成 24 年度各部会部員の公募」について、定款第 34 条第 2 項に則り、書面による表決を行い、満場一致で原案どおり承認可決された。なお、岸田隆夫副会長より次のような意見があった。

\* 事業部の活動が、公 1 (出版企画) と公 3 (技術普及、講習会) に分割して運営される予定なので、事業部に応募する会員がいらした場合は、応募者に状況を個別に説明して納得の上で、公 1 が公 3 をしていただくか、こちらから一つを指定してご納得いただくか、いずれかの対応が必要だと思えます。

災害連絡会議

その他

予備審議事項

報告事項

会員・支部部

調査・研究部

会誌部

事業部

1. 平成 23 年度講習会開催計画案

〔別紙 - 7〕 pp. 23-27

- 2.平成23年度講習会収支報告 [別紙-8] p. 28  
3.既刊本見直し評価について [別紙-9] pp. 29-38  
4.ショッピングカート改修について

・事務局から、各部会へショッピングカート改修作業への意見・要望をメールで問い合わせたが意見・要望は無かった。  
事務局より各支部の出版物の販売申し込みコーナーを設けることの提案があった。

#### 基準部

#### 企画部

- 1.「地盤品質判定士」について [別紙-10] pp. 39-41
- ・学会での資格創設についての検討の流れ
  - ・12月1日の建設系7学会会長会議において、地盤工学会が提言に沿って「地盤品質判定士」について検討していることを、日下部会長から国交省技監に質問する形で話題提供した。
  - ・平成24年1月5日に、建築学会、全地連と「地盤品質判定士」設立に関する意見交換会を行う。

#### 国際部

- 1.第5回日中地盤工学シンポジウム 論文募集
- ・概要応募締切：平成24年2月1日(水)
  - ・開催予定日：平成24年10月11日,12日 ・場所：中国(四川省 成都市)
  - ・テーマ New Advances in Geotechnical Engineering
- 2.第18回国際地盤工学会議 アブストラクト募集
- ・応募締切：平成24年2月15日(水)
  - ・開催予定日：平成25年9月2日~5日 ・場所：フランス(パリ)

#### 総務部

- 1.経理関係報告 [別紙-11] pp. 42-43、[別添資料-1]  
2.中国支部監査報告 [別紙-12] pp. 44-45
- ・平成23年12月2日に実施した、中国支部監査の結果および留意点等の報告。
- 3.平成24年度第一次予算案の精査、疑問点等の抽出 [別紙-13] pp. 46-64
- ・【別紙-1】に示した平成24年度第一次予算案では、経常収益に較べて、経常費が大きく見積られていることが収益性を悪化させ、経常収益342,321,500円に対し、経常費は405,826,000円となっており、一般正味財産増減は63,504,500円の大きな赤字となっている。平成24年度の予算案を策定する上で本部各部から提出された資料に対し、総務部で確認した内容は【別紙-2】に示した通りであり、問題点や改善点が幾つか指摘はされているが、現状のままでは大幅な収支差の改善は見込めそうにないことから、第一次予算案の経常収益をそのままにして、経常費の圧縮だけで第一次予算案から収益改善させる場合、第一次予算案の経常費405,826,000円から、圧縮が難しい管理費や共通費を差引いた事業部分だけの経常費約220,000,000円で削減することになり、実質約10%の収支差の改善が必要になる。したがって、経常費だけで収支差を改善させることは非常に難しい課題ではあるが、経常収益の“増”がない場合、これ位の大幅な予算カットを実施せざるを得ない。これらのことから、第二次予算案の策定に向けて、本部各部および事務局に、次の手順で第一次予算案からの収支差改善を前提とした見直しを平成23年12月27日(火)を提出期限として依頼した。

外部資金獲得、販売増などで経常収益を第一次予算案よりも増やすことができないか検討する。但し、あてのない無理な収益計画は避ける。24年度計画している事業の中で、不要不急な事業は次年度以降に延期または中止することができないかを検討する。平成24年度で実施する事業については、経常費を圧縮させる。～を考慮した第一次予算案の見直し結果を【別紙-3】に示した『収支改善調書』に記述し提出する。事業部、基準部の場合、第一次予算案レベルで黒字となっているが、経常費の約10%に相当する黒字の増額検討をお願いする。なお、事業個別に経常費の削減検討が難しい場合には、経常費一律10%カットの申告でもかまわない。管理費や共通費については学会事務局で、事業と同じ観点で経常費の約10%

に相当する収支差の改善ができないかを検討する。

～ の手順で見直しを行なった収支改善データをもとに次回 1 月の総務部会で再検討し、その結果を踏まえ、1 月の理事会に第二次予算案として提出する。

4. 平成 24 年度支部事業計画案・収支予算案の提出依頼 [別紙 - 14] pp. 65-66

・各支部の「事業計画案・収支予算案」作成を別紙のとおり依頼する。提出期限は平成 24 年 2 月 17 日（金）

5. その他

1) 訃報

・名誉会員 小松田精吉 氏（77 歳） アートスペース工学(株)代表取締役（23.12.3 逝去）

2) 共催、後援、協賛等の依頼

「水・土壌汚染研究部会セミナー（第 44 回）～東日本大震災における地盤環境防災の課題を探る～」の後援

主催：おおさか ATC グリーンエコプラザビジネス交流会 H23.12.16

特別講演セミナー「次世代衛星測位システムと防災」の共催 主催：shamen-net 研究会 H24.1.31

ワンデーセミナー「宇宙線・ミュー粒子の世界と物理探査」の後援 主催：一般社団法人物理探査学会 H24.2.3

シンポジウム「東日本大震災 あれから 1 年そしてこれから ～巨大災害と社会の安全～」の後援

主催：公益社団法人土木学会 H24.3.5～6

3) HP、メールニュース等による会員への周知

「平成 24 年度 研究助成課題」の募集（募集締切日：24.1.31）（財）高速道路調査会よりの依頼

「2012 年度「鋼構造研究・教育助成事業」による助成金給付対象研究テーマ」の募集（募集締切日：H24.1.16）

一般社団法人日本鉄鋼連盟よりの依頼

「鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻土木工学講座 教員」の募集（公募締切日：H24.3.8）

清水正喜 氏（鳥取大）よりの依頼

「長崎大学大学院工学研究科総合工学専攻社会環境デザイン工学コース 教員」の募集（公募締切日：H24.2.29）

蔣 宇静 氏（長崎大）よりの依頼

「第 18 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会（H24.6.14～15 開催）」の発表募集（申込期限：H24.1.27）

主催：公益社団法人地盤工学会、公益社団法人日本地下水学会、社団法人日本水環境学会、一般社団法人廃棄物資源循環学会、(社)土壌環境センター

災害連絡会議

そ の 他

課 題 討 議

共通検討課題

（予告）平成 24 年 1 月理事会での共通検討課題：JGS・ISO 基準

（ 関連部：基準部・事業部）

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり記名・押印する。

平成 23 年 12 月 22 日  
公益社団法人 地盤工学会

議長および議事録署名者 会 長 日下部 治

議事録署名者 監 事 石 川 彰

議事録署名者 監 事 小 椋 仁 志

議事録作成者 理 事 木 村 亮

以上